

CA Product Vision

導入ガイド

Winter 2012



このドキュメント(組み込みヘルプ システムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」)は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社(以下「CA」)により随時、変更または撤回されることがあります。

CA の事前の書面による承諾を受けずに本ドキュメントの全部または一部を複製、譲渡、開示、変更、複本することはできません。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報です。ユーザは本ドキュメントを開示したり、(i)本ドキュメントが関係する CA ソフトウェアの使用について CA とユーザとの間で別途締結される契約または (ii) CA とユーザとの間で別途締結される機密保持契約により許可された目的以外に、本ドキュメントを使用することはできません。

上記にかかわらず、本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを適切な部数だけ作成できます。ただし CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害(直接損害か間接損害かを問いません)が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本ドキュメントの制作者は CA です。

「制限された権利」のもとでの提供:アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2011 CA. All rights reserved. 本書に記載された全ての製品名、サービス名、商号およびロゴは各社のそれぞれの商標またはサービスマークです。

CA への連絡先

テクニカル サポートの詳細については、弊社テクニカル サポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。

目次

第 1 章: はじめに	7
Product Vision について.....	7
Product Vision と CA Clarity PPM の併用について.....	7
Product Vision の主要用語.....	8
Product Vision へのログイン.....	10
Salesforce.com でのユーザの追加.....	10
第 2 章: 開始用のベストプラクティス	13
要件データの入力方法.....	13
第 3 章: クイックツアー	15
Product Vision メニュー.....	15
管理メニュー.....	16
ページ機能.....	16
ナビゲーションリンク.....	17
必須フィールド.....	17
ルックアップの自動候補表示.....	18
ホーム ページの設定.....	18
ページフィルタ.....	18
リスト ページフィルタの作成.....	19
フィルタの編集または削除.....	19
オブジェクトの検索.....	20
リスト ページ.....	21
リスト表示およびページネーションの設定.....	22
列を基準にしてリスト ページをソート.....	22
リスト ページの表示と編集.....	23
リスト ページフィールドの編集.....	25
リスト ページの列の設定.....	26
詳細ページ.....	27
ルールの編集.....	28

第 4 章: ソースとペルソナ	29
ソースについて.....	29
ソースの作成.....	30
ソースの詳細の編集.....	30
ソース表示モード.....	32
ペルソナについて.....	33
ペルソナの作成.....	33
ペルソナの詳細の編集.....	34
ペルソナの詳細の表示.....	35
第 5 章: 製品セットアップ	37
製品について.....	37
製品の作成.....	37
製品の詳細の編集.....	38
製品の詳細の表示.....	40
リリースについて.....	41
製品リリースの作成.....	41
製品リリースの詳細の編集.....	43
第 6 章: 要件	47
製品リリースの詳細の表示.....	55
フィーチャーについて.....	55
フィーチャーの作成.....	56
フィーチャーの詳細の編集.....	57
機能の詳細の表示.....	59
製品ロードマップについて.....	59
ロードマップ ナビゲーション.....	60
ロードマップからのオブジェクト詳細ビュー.....	60
第 7 章: Chatter の使用	63
Chatter について.....	63
フォローのオン/オフ切り替え.....	63
Chatter 情報の表示.....	64

第 1 章: はじめに

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[Product Vision について](#) (P. 7)

[Product Vision と CA Clarity PPM の併用について](#) (P. 7)

[Product Vision の主要用語](#) (P. 8)

[Product Vision へのログイン](#) (P. 10)

[Salesforce.com でのユーザの追加](#) (P. 10)

Product Vision について

Product Vision では、プロジェクト、サービス、製品、リリース、およびフィーチャーの要件を管理できます。Product Vision を使用すると、その元の要求者から製品の特定のフィーチャーまたはリリースへの包含まで、要件を追跡できます。要件とその利点、要件のソース、競合する製品、およびランク情報に関する詳細情報を含めることができます。このような種類の情報を要件に関連付けることで、特定の要件を製品リリースに含めるかどうかの判断に役立ちます。

また要件は、スクラム方法から Agile Vision™ ユーザストーリーに関連付けることができ、任意のスプリントに対するユーザストーリーの履歴を追跡することができます。ユーザストーリーに関連付けられている要件、および要件を要求したソースを参照できます。

Product Vision と CA Clarity PPM の併用について

Product Vision が CA Clarity PPM と統合されている場合は、以下のタスクを実行できます。

- ロール階層を CA Clarity PPM から Product Vision にダウンロードできます。
- CA Clarity PPM で Product Vision の要件を CA Clarity PPM のタスクにリンクできます。

Product Vision および CA Clarity PPM の適切な権限を持つ管理者が、これらのタスクを実行します。

統合が完了し、要件とタスクがリンクされると、ユーザは CA Clarity PPM からコストや工数の情報を参照できます。以下の情報が用意されています。

- 計画コスト
- 実際コスト
- 計画コスト vs 実際コスト
- 計画工数
- 実工数
- 残存工数
- 計画工数 vs 実際工数

注: Product Vision と CA Clarity PPM の併用の詳細については、「統合ガイド」を参照してください。

Product Vision の主要用語

以下のリストで、Product Vision の主要用語を定義しています。

カテゴリ

カテゴリは要件を分類する方法です。企業のニーズに特有の、組織の要件カテゴリを定義します。カテゴリの例には以下が含まれます。市場要件、技術要件、機能要件、および非機能要件。

競合他社

製品作成時に、製品が競合他社製品であることを示すことができます。自社で開発中の製品についてと同様の、競合他社製品の詳細情報を格納することができます。要件のソースとして競合製品を使用できます。

エピック

エピックは、製品の複数のリリースおよびスプリントにまたがる複数の子ユーザストーリーの親コンテナとして機能します。エピックを要件にリンクして、トレーサビリティを提供し、計画プロセスに役立てることができます。

フィーチャー

フィーチャーは製品の一部です。フィーチャーは独立したスタンドアロンとして機能します。また、製品の他の部分と連動して機能することもできます。

ペルソナ

ペルソナは一人の人物、または多数の人物の複合物とすることができます。ユーザ、顧客、購入者、またはユーザが要件を作成させる原因となる他の誰かの記述です。要件をペルソナおよびソースにリンクして、トレーサビリティを提供し、計画プロセスに役立てることができます。

製品

ユーザの会社が販売または内部での使用を目的として製造する、価値あるものを示します。製品は、商品または製品、ソフトウェア、構築プロジェクトまたは何らかの消費財である可能性があります。製品は、また IT 環境において、サービス、アプリケーションまたはシステムを表します。

リリース

リリースはプロジェクト、つまり価値の配布で終了する工数に似ています。これらのリリースは、通常、多くのフィーチャーおよび要件を必要とします。

要件

要件は、特定の製品またはサービスがどのようなものであるか、また何が可能かを記述する文書化された仕様です。ユーザに価値を供給するように、製品またはサービスの必要な属性、機能、特製、または品質を定義するステートメントです。

ソース

ソースは、会社または組織である場合があります。ソースに関する情報を収集し、連絡先情報およびその他のマーケット情報を含めることができます。ソースを要件にリンクして、トレーサビリティとコンテキストを提供することができます。

トレーサビリティ

要件をその起源から実装の最低レベル（通常は、テストケースまたは作業項目）まで追跡する機能です。

ユーザストーリー

ユーザストーリーは Agile Vision 内で要件を定義する方法です。これらの製品と一緒に使用される場合、Product Vision の要件は、Agile Vision の関連付けられたユーザストーリーにリンクできます。

Product Vision へのログイン

すべての新規 CA Product Vision ユーザには、ユーザ名と一時的なログインパスワードが与えられます。ユーザの便宜を図るため、チェックボックスを設定して、CA Product Vision の[ユーザ名]フィールドにログインユーザ名が自動的に入力されるようにすることができます。ユーザ名とパスワードは、通常 salesforce.com から電子メールで送信されます。

ログイン方法

1. 以下の URL に移動します。
`http://login.salesforce.com/`
2. ユーザー名とパスワードを入力して、[Login] をクリックします。

CA Product Vision への初回ログイン時に、すぐにパスワードを変更するように要求されます。

Salesforce.com でのユーザの追加

Agile Vision または Product Vision でユーザを追加するには、事前に Salesforce.com でユーザを追加し、定義する必要があります。ユーザが利用できるユーザプロフィールは、Salesforce のライセンスに含まれています。

注: ユーザプロフィールの詳細については、「管理ガイド」のアクセス権に関する付録を参照してください。

Salesforce.com でユーザを追加するには、システム管理者である必要があります。

Salesforce.com でユーザを追加する方法

1. メニューバーの[セットアップ]をクリックします。
2. 左側のペインで、[管理者設定]メニューの[ユーザの管理]をクリックします。

3. 右側のペインで、ユーザを追加または編集するオプションをクリックします。
ユーザリスト ページに管理者ユーザが表示されます。すべてのユーザを表示するには、[表示]フィールドで[すべてのユーザ]を選択します。
4. Salesforce.com でのユーザ設定の詳細については、このページのヘルプをクリックしてください。

このリンクから Salesforce.com のヘルプが開きます。

第 2 章：開始用のベストプラクティス

要件データの入力方法

ユーザが CA Product Vision に不慣れな場合、以下のプロセスで、要件データの

1. 最初に使用するソースおよびペルソナを作成します。

ソースおよびペルソナによって、製品要件の起源および要件の完了を誰が待機しているかに関するナレッジが提供されます。CA Product Vision に基本的な情報がすでにあれば、製品やリリースが作成されたら、情報をそれらに関連付け、トレーサビリティとコンテキストを提供することができます。任意の時点で、要件または製品でソースまたはペルソナを作成できますが、他のコンポーネントの作成時に情報が作成され、選択可能になっていれば、余分なクリックややり直しを省くことができます。

2. 製品を作成します。

CA Product Vision の主要な目的の 1 つは製品要件の管理です。要件を追跡する製品を作成し、コスト、所有者、ペルソナ、顧客、マーケット セグメント、競合製品、長所、短所および案件に関する情報を提供できます。CA Product Vision で製品をセットアップすると、履歴が提供されます。この履歴には、完了するために選択された要件に影響を及ぼす推論が表示されます。

3. リリースを作成します。

リリースが関連付けできる製品は 1 つのみです。これは、製品に関連付けられている要件を明確な配布時期がある工数に整理する方法です。リリースには通常、多数の要件またはフィーチャーの履行などが含まれます。

4. フィーチャーを作成します。

フィーチャーはスタンドアロンになる可能性があり、製品の 1 つ以上のリリースをカバーします。

5. 要件を作成し、それらを必要な製品、リリースまたはフィーチャーに関連付けます。

第 3 章: クイック ツアー

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[Product Vision メニュー](#) (P. 15)

[管理メニュー](#) (P. 16)

[ページ機能](#) (P. 16)

[ホーム ページの設定](#) (P. 18)

[ページ フィルタ](#) (P. 18)

[オブジェクトの検索](#) (P. 20)

[リスト ページ](#) (P. 21)

[詳細ページ](#) (P. 27)

[ルールの編集](#) (P. 28)

Product Vision メニュー

[Product Vision]メニューを使用して、製品の要件のすべての局面を管理できるページにアクセスします。

以下のメニュー セクションが[Product Vision]メニューに表示されます。

概要

[概要]メニューの選択項目を使用して、他のユーザから Chatter への通信を表示したり、インボックス内の Idea Vision からのアイデアを表示します。

ビジネス計画

[ビジネス計画]メニュー の選択項目を使用して、ソースとペルソナをセットアップし、要件の元の要求者まで要件を追跡することができます。また、このセクションから製品ロードマップにアクセスすることもできます。このメニュー セクションの内容に関してセキュリティ設定は利用できません。Product Vision のすべてのユーザが、ここにある内容を表示、編集できます。

計画の詳細

[計画の詳細]メニュー セクションにあるセクションを使用して、製品、リリース、フィーチャーおよび要件をセットアップします。ロール ベースのセキュリティによって、このメニュー セクションにある項目へのアクセスを制御します。

管理メニュー

[管理]メニューによって、製品管理ページを以下のメニュー セクションに分類します。

組織

[組織]メニュー セクションの選択項目を使用して、ユーザとロールをセットアップします。

アプリケーション

[アプリケーション]メニュー セクションの選択項目を使用して、マスターリリース、製品、およびリリースをセットアップします。[管理]メニューの製品およびリリースのリンク、または[Product Vision]メニューの[計画の詳細]メニュー セクションを使用できます。

設定

[設定]メニューの選択項目を使用して、以下を管理します。

- プロパティ表示
- リストビューの発行
- カスタム属性
- 統合
- ステータス マッピング

ページ機能

[Agile Vision]および[Product Vision]ページには、製品をより簡単にセットアップし管理するのに役立つ多くの便利な機能があります。

ナビゲーションリンク

ユーザは、ほとんどすべての **Product Vision** ページからほとんどのページに移動できます。[すべてのレコード]ビューが表示されたリスト ページでは、[アクション]列に[編集]または[表示]アクションが表示されます。[編集]をクリックすると、現在表示されているリスト ページから項目の編集ページに移動します。[表示]をクリックすると、詳細ページに移動します。リスト ページのアイテム(製品や要件など)の作成者に対しては、両方のリンクが表示されます。アイテムを作成しなかった場合、それを編集する権限がありません。表示アクションのみが[アクション]列に表示されます。

リスト ページの階層ビューでは、項目の名前が下線付きのテキストとして表示されます。これらのリンクのいずれかをクリックすると、それぞれの詳細ページに移動します。

メイン メニュー ページでないページで、ヘッダ 上の[リストに戻る]ボタンをクリックすると、前のページに移動します。

ホーム ページに移動するか、または任意のページからカスタム ホーム ページを指定できます。[ホーム]アイコンは[検索]フィールドの横にあります。

以下のオプションを表示するには、アイコンの上にマウスを移動します。

- ホーム ページに移動
- 現在のページをホーム ページに設定

ホーム ページを既定ホーム ページにリセットします。

必須フィールド

左側の赤い境界線付きのフィールドは、必須フィールドです。これらのフィールドに有効なデータが含まれていない場合は、ページ上の変更を保存できません。

ルックアップの自動候補表示

自動候補表示に、ルックアップ属性のテキスト フィールドに入力された文字に一致する値のリストが表示されます。たとえば、ルックアップ テキスト フィールドに「Bo」と入力すると、システムによって文字列「Bo」が含まれる候補値のリストが表示されます。リストから適切な値を選択します。文字列にさらに文字を追加すると、候補値が絞り込まれます。

ホーム ページの設定

ホーム ページに移動するか、または任意のページからカスタム ホーム ページを指定できます。[ホーム]アイコンは[検索]フィールドの横にあります。

以下のオプションを表示するには、アイコンの上にマウスを移動します。

- ホーム ページに移動
- 現在のページをホーム ページに設定

ホーム ページを既定ホーム ページにリセットします。

ページ フィルタ

リスト ページではヘッダの下にフィルタがあります。このフィルタを使用して、ページに表示する内容を制御できます。リスト ページで作成されたすべてのフィルタが、選択対象として[フィルタ]ドロップダウンリストに表示されます。リスト ページで現在使用しているフィルタは、[フィルタ]フィールドに表示されます。

フィルタについては以下の点に注意してください。

- フィルタリングすると、リスト ページの選択条件は有効な状態のままになります。リスト ページから離れて戻ってくると、フィルタの選択条件でリストが事前にフィルタリングされます。
- 作成したすべてのフィルタが自動的に保存されます。
- 作成したフィルタは、編集したり削除したりできます。
- リスト ページのフィルタ条件を上書きしてリスト全体を表示するには、[フィルタのクリア]をクリックします。
- フィルタはブラウザごとにセッション間で保存されます。別のブラウザに切り替えた場合は、フィルタを再度選択し、適用してください。

リスト ページ フィルタの作成

複数のフィルタを作成して保存できます。

リスト ページ フィルタの作成方法

1. フィルタリングするリスト ページを開きます。
2. [フィルタの追加/編集]をクリックします。
[フィルタ]ウィンドウが表示されます。
3. [新規フィルタの作成]オプションを選択します。
4. [プロパティ]セクションで、[フィルタ名]フィールドに名前を入力します。
5. [フィルタ名]フィールドの横にある各ドロップダウンリストの項目を選択することにより、フィルタ条件を選択して絞り込みます。

最初のドロップダウンリストでは、フィールドを選択します。2 番目では、[より大きい]や[より小さい]などのオペランドを入力します。3 番目では、値を選択して条件を完成させます。フィールドに対するオペランドと値は、最初のドロップダウンリストで選択したフィールドによって変わります。

6. 追加の条件を定義するには、[追加]をクリックします。
7. 完了したら[フィルタ]をクリックします。
定義した条件を使用してリスト ページがフィルタリングされます。また、フィルタは自動的に保存されます。

フィルタの編集または削除

フィルタの名前を編集したり、その条件を変更したりできます。フィルタを削除することもできます。

次の手順に従ってください:

1. 編集するフィルタのリスト ページを開き、[フィルタの追加/編集]をクリックします。
[既存のフィルタを表示]オプションが選択された状態で[フィルタ]ウィンドウが表示されます。

2. 左側のペインでフィルタを選択します。
右側のペインにプロパティが表示されます。
3. フィルタを編集して[フィルタ]をクリックします。
変更が保存され、新しい条件でリスト ページがフィルタリングされます。

オブジェクトの検索

製品のメンバシップに基づいて、製品のオブジェクト(ユーザー ストーリー、問題、タスク、リリースなど)を検索できます。システム管理者は、すべての製品のオブジェクトを検索できます。

注: 新しく作成された項目に検索用のインデックスを付けるときに、若干の遅延が発生することがあります。新しい項目が検索結果に表示されるまでには、最大で数分かかることがあります。

次の手順に従ってください:

1. ワークスペースの右上にあるテキスト フィールドに、キーワードまたは番号 (ID)を入力します。たとえば、オブジェクトのタイトル、説明、ID などを入力します。

注: 検索文字列は、その前にワイルドカード文字を使用せずに入力します。

以下の例では、検索用の正しい文字列と正しくない文字列を示します。

正しい

```
as a user, I  
14923
```

正しくない:

```
*as a user, I  
*14923
```

2. 虫めがねアイコンをクリックします。

検索結果のページが表示されます。以下のフィールドに、オブジェクトタイプでアルファベット順にグループ化された情報が表示されます。

アクション

オブジェクトに対して実行できるアクションのタイプ (詳細の表示または編集)を定義します。

ID

オブジェクト ID を表示します。

タイトル

オブジェクトのタイトルを表示します。

タイプ

オブジェクト タイプを表示します。

担当者

オブジェクトの担当者を表示します。

作成日

オブジェクトが作成された日付を表示します。

更新日

オブジェクトが最後に更新された日付を表示します。

結果は、任意の列を使用してグループ化できます。列名を右クリックしてこのフィールドでグループ化]を選択します。オブジェクトごとのアルファベット順リストに結果を復元するには[グループ化をクリア]をクリックします。

リスト ページ

以下のセクションでは、リスト ページの使用方法和、リスト ページに含まれる情報を管理する方法について説明します。

[リスト表示およびページネーション](#) (P. 22)

[並べ替えリスト ページ情報](#) (P. 22)

[リスト ページの表示と編集](#) (P. 23)

[リスト ページ フィールドの編集](#) (P. 25)

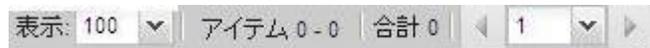
[リスト ページの列の設定](#) (P. 26)

リスト表示およびページネーションの設定

大きな製品には何百または何千もの要件がある場合があります。Product Vision の[要件]リスト ページには、既定で一度に 100 個の要件が表示されます。

リスト ページ上で表示する要件の数は、減らすことができます。一度に表示する要件の数を設定すると、その数がリスト ページの新しい既定の表示数になります。

作業領域の上部と下部にあるページネーション ツールは、ページ上の数および現在表示されているアイテムの数を表示します。



ページを前後に移動するには、作業領域の一番上にある[ナビゲーション]ボタンをクリックします。また、ナビゲーション ボタンの間にあるドロップダウンリストを使用して、特定のページに直接移動することもできます。

表示する要件数の設定方法

1. [表示]フィールドで、下向き矢印をクリックします。
2. アイテムの数を選択します。

最小値は 10 アイテムです。最大値は 100 です。

列を基準にしてリスト ページをソート

データがリスト テーブル形式で表示される一部のページでは、任意の列でリストを並べ替えることができます。

リスト ページのソートを削除して元のリストに戻すには、[グループ化をクリア]をクリックします。



列を基準にしてリスト ページをソートする方法

1. カーソルをリストの列見出しに移動します。
2. リストの列見出しのメニュー ボタンをクリックし、以下のいずれかを実行します。
 - [昇順にソート]または[降順にソート]を選択して、目的の順番で、リスト項目を順序付けます。
 - [このフィールドでグループ化]をクリックして、列内の類似項目をリストにグループ化します。

注: 複数の値を使用して列フィールドのソートまたはグループ化を実行すると、列フィールドの各値についてソートが実行されます。たとえば、要件として複数の製品を含む製品列フィールドをソートすると、各製品ごとにグループ化が行われます。

リスト ページの表示と編集

リスト ページを表示するには、[Product Vision]メニューに移動してメニュー項目を選択します。

リスト ページの[アクション]列に、リスト項目の表示および編集用のリンクが含まれる場合、そのリスト アイテムを変更できます。リンクを使用して、以下の操作を行うことができます。

- **編集。** アイテムの詳細ページを開き、アクティブなフィールドのいずれかで値に変更を加えることができます。

- 表示。表示専用モードで、詳細ページを開くことができます。リスト項目の作成者または製品オーナーは、[編集]をクリックしてフィールド値を変更できます。

新規 新規の子 リリースに割り当て フィーチャーに割り当て

アクション	要件 ID	タイトル ▲
表示 編集	REQ-000004	JPN_子_要件1
表示 編集	REQ-000003	
表示	REQ-000002	PTB_CHildSet061
表示	REQ-000001	PTB_Requirement1

[表示]をクリックして、ハイライトされたリスト項目の詳細を表示します。
[編集]をクリックして、詳細を変更します。

表示ードについて

[アクション]列に[表示]リンクのみが含まれている場合は、ユーザに適切な権限がないため、詳細を変更できません。

新規 新規の子 リリースに割り当て フィーチャーに割り当て

アクション	要件 ID	タイトル ▲
表示 編集	REQ-000004	JPN_子_要件1
表示 編集	REQ-000003	
表示	REQ-000002	
表示	REQ-000001	

[アクション]列に[表示]のみが表示されている場合は、コンポーネントの詳細を編集する権限がありません。

ユーザがリスト項目の所有者でなくても、一部のアクションは[表示]モードで実行できます。以下のテーブルは、[表示]モードから実行可能な操作を示しています。

表示モード アクション	製品所有者または作成者は実行可能か?	製品所有者または作成者でないユーザは実行可能か?
製品、リリースおよびフィーチャーの要件を追加または削除する。	はい	はい

表示モード アクション	製品所有者または作成者は実行可能か?	製品所有者または作成者でないユーザは実行可能か?
製品、リリースおよびフィーチャーの要件を開き編集する。	はい	いいえ
製品のリリースを追加または削除する。	はい	はい
製品のリスト表示されたリリースを開き編集する。	はい	いいえ
フィーチャーまたは要件のメモを追加または削除する。	はい	いいえ
フィーチャーの添付ファイルを追加および削除する。	はい	いいえ

リスト ページ フィールドの編集

リスト ページ上の多くのフィールドは直接編集できるため、変更するリスト項目の詳細ページを表示するために何回もクリックせずに済みます。

リスト ページ フィールド内でクリックして、編集を開始します。フィールドが編集可能な場合、そのフィールドはアクティブ化されるので、値を変更することができます。

フィールド値を変更すると、更新された値を示す小さな赤い三角形がフィールドの左上に表示されます。編集可能なフィールドに加えられた変更を保存するには、リストビューの最上部で[保存]をクリックします。保存せずに元のフィールド値に戻すには、[変更を破棄]をクリックします。

以下の編集および選択ツールをリスト フィールドの編集に利用できます。

- テキスト ボックス
- ドロップダウンリスト

削除されたアイテムの回復

リスト ページ上の項目を誤って削除した場合は、ごみ箱からその項目を回復できます。

削除された項目を回復する方法

1. [セットアップ]をクリックします。
[個人設定]ページが表示されます。
2. [ホーム]をクリックし、ごみ箱に移動します。
3. 目的の項目を選択して[削除の解除]をクリックします。

リスト ページの列の設定

一部のリスト ページでは、表示される列を選択できます。既定の列を削除したり、必要な列を追加したりできます。カスタム フィールド(属性とも呼ばれる)を追加した場合は、カスタム フィールドを適切なリスト ページに列として追加できます。たとえば、要件に関するカスタム フィールドを追加した場合は、それらのカスタム フィールドを[要件]リスト ページに表示できるようになります。

リスト ページの設定方法

1. リスト ページを開き、[設定]をクリックします。
[ビューの設定]ウィンドウが表示されます。
2. 左右の矢印キーを使用して、必要な列を[選択済み]リスト ボックスに追加し、不要な列をボックスから削除します。
また、[選択済み]リスト ボックス内のフィールドを選択し、上下の矢印キーを使用して、リスト ページ上の列の順序を変更することもできます。
3. [保存]をクリックします。

リスト ページの既定の設定を復元する方法

1. リスト ページを開き、[設定]をクリックします。
[ビューの設定]ウィンドウが表示されます。
2. [既定値の復元]をクリックします。

詳細ページ

詳細ページを開くには、リスト ページの[アクション]列の[表示]をクリックします。詳細ページから、以下の 1 つ以上のアクションを実行できます。

- リスト ページ項目のプロパティを読み取り専用状態で表示する。
- 他の Product Vision、Agile Vision または Idea Vision アイテムとの関連を追加する。たとえば、要件の詳細ページから、ユーザ ストーリー、子要件、およびロールを関連付けることができます。
- Idea Vision からインボックス アイテムをリンクする。
- メモの追加またはファイルの添付。
- [編集] ボタンをクリックして、表示している項目のプロパティを編集する。

関連付け用のリスト セクションが詳細ページに表示されます。各セクションを折りたたんだり、展開したりできます。詳細ページ上のセクションを展開または折りたたむと、ページを再度開いたときに直前の表示方法でページが表示されます。以下の図は、開いたセクションと閉じたセクションの両方を含む[要件]リスト ページを示しています。

ベストプラクティス: 長いリストを含むセクションがある詳細ページでは、セクションを折りたたんでおくと、詳細ページがより速く表示されます。



セクション名の隣にある矢印をクリックすると、セクションを展開または折りたたむことができます。

要件 ID	タイトル ▲
REQ-000003	Add New Features
REQ-000004	Render Designs for Manufacturing
REQ-000002	Test Beta Version

ルールの編集

以下のリストに、**Product Vision** で作業する場合の一般的なガイドラインを示します。

- 作成した任意の項目を編集または削除できます。
- 製品オーナーには、製品に関連付けられた任意の要件、リリース、フィーチャー、ソース、またはペルソナを編集する権限があります。

たとえば、ユーザが製品オーナーである場合、その製品に関連付けられた要件を編集できます。ユーザは要件の作成者または関連付けられたオーナーである必要はありません。

- 製品オーナーは、製品に関連付けられた要件、リリース、フィーチャー、ソース、またはペルソナを編集する作成者の権限を削除できます。
- フィーチャーは、製品のオーナーまたは作成者以外のオーナーを持つ場合があります。これらのオーナーにも、フィーチャーに関連付けられた任意の要件を編集する権限があります。

第 4 章: ソースとペルソナ

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[ソースについて](#) (P. 29)

[ペルソナについて](#) (P. 33)

ソースについて

ソースによって、要件をその起源までトレースできます。要件をリクエストしたソースの数、およびソースが誰かを知ることは、どれくらいのタイミングで要件を配布する必要があるかを判断するのに役立ちます。これは、製品のリリースのためにどの要件を実装するか決定する要因の 1 つです。

ソースによって、どの地理的またはマーケットのセグメントが関わっているかに関する情報が提供されます。Product Vision には、以下のソースタイプが用意されています。

- ビジネスユニット。ビジネスの内部からの要件を識別します。
- 顧客。アクティブなまたは見込み顧客からの要件を識別します。
- 地域。1 つ以上の地勢に固有の要件を識別します。
- 業種。1 つ以上の業種に固有の要件を識別します。

提供される既定のフィールドが、収集して格納するソースの情報に適していないことがわかった場合は、ソースに対して追加のカスタム フィールド (属性) を定義できます。カスタム フィールドは、[管理]メニューから追加します。

詳細については、「[管理ガイド](#)」を参照してください。

ソースの作成

ソースを作成して、要件の発信者、または要件が満たされることに関心を寄せている組織を記述します。ソースを作成すると、そのソースを編集して、完全な情報を追加できます。

ソースの作成方法

1. [Product Vision]メニューに移動し、[ビジネス計画]メニューから[ソース]をクリックします。

[ソース]リスト ページが表示されます。

2. [新規ソース]をクリックします。
3. 以下のフィールドに入力します。

ソース名

ソースの名前を指定します。

タイプ

ソースのタイプを指定します。タイプを選択して保存した後、そのタイプは変更できません。

値: ビジネス ユニット、顧客、地域、業種。

説明

作成または編集されている項目の説明を提供します。

4. [保存して終了]をクリックします。
5. ソースの詳細を編集して、ソースのすべての情報を完了します。

ソースの詳細の編集

要件のソースの詳細を編集できます。

次の手順に従ってください:

1. [ソース]リスト ページを開き、ソース名の隣の[アクション]列で[編集]をクリックします。
2. 以下のフィールドを完了または編集します。

ソース名

ソースの名前を指定します。

タイプ

ソースのタイプを指定します。タイプを選択して保存した後、そのタイプは変更できません。

値: ビジネス ユニット、顧客、地域、業種。

ステータス

ソースが潜在的なソース、アクティブ、非アクティブのどれであるかを指定します。

主要連絡先

情報に関して、ソースで連絡可能な担当者の名前を指定します。

主要連絡先の電子メール

主要連絡先の電子メール アドレスを指定します。

主要連絡先の電話番号

主要連絡先電話の電話番号を指定します。

説明

作成または編集されている項目の説明を提供します。

3. [顧客]セクションの以下のフィールドに入力します。

地域

ソースが表す地理的な領域を指定します。

現在までの収益

現在までに顧客から生成された収益を示します。

業種

ソースが属する市場セグメントを指定します。

予想収益

ソースから生成される可能性がある将来の収益を指定します。

4. [製品の詳細]セクションの以下のフィールドに入力します。

競合他社製品

ソースが関連付けられる競合他社製品を指定します。

要件

ソースが関連付けられる要件を指定します。ソースに複数の要件を関連付けることができます。

製品

ソースが適用される製品(複数可)を指定します。関連付ける複数の製品を選択できます。

ペルソナ

ソースに関連付けられるペルソナを指定します。ソースに複数のペルソナを関連付けることができます。

5. [マーケット情報]セクションの以下のフィールドに入力します。

マーケットの規模

ソースが表す市場の規模を指定します。

マーケットシェア

ソースの現在の市場占有率を指定します。

マーケットの成長性

ソースが関連付けられている市場セグメントの予想される成長性を指定します。

値: 高、中、低

6. [保存]をクリックします。

ソース表示モード

[ソースの詳細]ページには、表示可能なソースに関する情報が含まれています。ページを表示するには、[ソース]リスト ページ上でソースの[アクション]列の[表示]をクリックします。

ユーザがソース オーナーである場合、[ソースの詳細]ページ上で[編集]をクリックして、ソースに変更を加えることができます。

[表示]モードで、以下の操作を実行できます。

- ソースの新規要件の追加
- アイデアをソースとリンクします。

ペルソナについて

ペルソナは、実在の人物、または購入者、または製品購入の決定に影響を及ぼす人物を表わす人物の合成物である場合があります。ペルソナを要件に関連付けると、要件の完了を期待している人物、およびどのようにして要件がその人物の無事ネスモデルに適合するのかに関する詳細情報が提供されます。ペルソナは、ビジネスニーズ、課題ポイントおよび購買慣習をなど要件を満たす問題に関する情報を提供できます。

ペルソナの作成

ペルソナを作成して、製品の購入に関する決定に影響を及ぼす可能性がある、組織内の人物、または人物の合成物を示します。ペルソナを作成すると、ペルソナの詳細を編集して、完全情報を追加できます。

ペルソナの作成方法

1. [Product Vision]メニューに移動し、[ビジネス計画]メニューから[ペルソナ]をクリックします。

[ペルソナ]リスト ページが表示されます。

2. [新規ペルソナ]をクリックします。
3. 以下のフィールドに入力します。

ペルソナ名

ペルソナの名前を指定します。

タイトル

ペルソナのタイトルを指定します。

説明

作成または編集されている項目の説明を提供します。

4. [保存して終了]をクリックします。
5. ペルソナの詳細を編集して、ペルソナのすべての情報を完了します。

ペルソナの詳細の編集

ペルソナの詳細の編集方法

1. [ペルソナ]リスト ページを開き、ソース名の横の[アクション]列で[編集]をクリックします。
2. 以下のフィールドを完了または編集します。

ペルソナ名

ペルソナの名前を指定します。

年齢

ペルソナの年齢を指定します。

組織の規模

ペルソナが所属している組織の規模を指定します。

値: 小、中、大

影響者

ペルソナに影響を及ぼす他のペルソナを指定します。

タイトル

ペルソナのタイトルを指定します。

性別

ペルソナが男性か女性かを指定します。

タイプ

ペルソナが組織内でどのように行動するかを指定します。

値: ユーザ、購入者および影響力を持つ担当者

説明

作成または編集されている項目の説明を提供します。

3. 以下の自由形式のテキスト セクションに詳細情報に記入して、ペルソナを完了します。
 - 問題
 - ニーズ
 - 課題
 - 購買傾向

- ゴール

ユーザがテキストを操作できるように、各テキスト セクションにはテキスト フォーマット バーがあります。

4. [保存]をクリックします。

ペルソナの詳細の表示

[ペルソナの詳細] ページには、ペルソナに関する表示専用の詳細情報が含まれています。

ペルソナの詳細の表示方法

1. [ペルソナ] リスト ページ上でペルソナの [アクション] 列の [表示] をクリックします。
2. [ペルソナの詳細] ページから [編集] モードに変更するには、[編集] をクリックします。

第 5 章: 製品セットアップ

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[製品について \(P. 37\)](#)

[リリースについて \(P. 41\)](#)

[フィーチャーについて \(P. 55\)](#)

[製品ロードマップについて \(P. 59\)](#)

製品について

製品作成時に、将来の参照用に製品の詳細図を作成します。財源、顧客、競合製品、地域のマーケットセグメント、業種のマーケットセグメントおよびフィーチャーに関する情報を含めることができます。また、製品の長所、短所、案件、脅威および解決済みの問題などに関する詳細情報も含まれます。

製品の作成

製品の作成後、製品の詳細を編集して、製品のすべての面に関する完全情報を追加します。

製品の作成方法

1. [Product Vision]メニューに移動し、[計画の詳細]メニューから[製品]をクリックします。

[製品]リスト ページが表示されます。

2. [新規製品]をクリックします。
3. 以下のフィールドに入力します。

製品名

製品の名前を指定します。

製品プレフィクス

製品バックログを構成する Agile Vision ユーザ ストーリーを識別するプレフィックスを指定します。

アクティブ

製品がアクティブであり、Product Vision で追跡できることを指定します。

デフォルト: オン

ライフサイクル ステージ

製品の開発段階を指定します。

値: コンセプト、開発中、導入済み、成長、成熟、衰退、販売終了

製品説明

製品の説明文を提供します。

計画コスト

製品に予定されているコストを指定します。

実際コスト

現在までの製品の実際のコストを指定します。

計画工数

製品を完成させるための見積もり工数を労働時間単位で指定します。

実工数

現在までに製品の完成に費やされた実際の工数を指定します。

製品オーナー

製品の所有者(複数可)の名前を指定します。

4. 以下アクションのいずれかを完了します。
 - [保存]をクリックして製品を保存し、製品の詳細を編集します。
 - [保存して新規作成]をクリックして製品を保存し、新製品を作成します。

製品の詳細の編集

製品の詳細の編集方法

1. 製品リストを開き、製品の[アクション]列で[編集]をクリックします。

- 必要に応じて、製品の[編集]ページで、以下のフィールドを完了または編集します。

製品名

製品の名前を指定します。

製品プレフィクス

製品バックログを構成する Agile Vision ユーザ ストーリーを識別するプレフィックスを指定します。

製品説明

製品の説明文を提供します。

アクティブ

製品がアクティブであり、Product Vision で追跡できることを指定します。

デフォルト: オン

ライフサイクル ステージ

製品の開発段階を指定します。

値: コンセプト、開発中、導入済み、成長、成熟、衰退、販売終了

競合他社

製品が自社の製品ではなく、競合他社の製品であることを指定します。

計画収益

製品から期待される収益を指定します。

実際収益

現在までに製品から取得された収益を指定します。

計画コスト

製品に予定されているコストを指定します。

実際コスト

現在までの製品の実際のコストを指定します。

計画工数

要件を満たすために必要な見積もり工数を指定します。

実工数

現在までに製品の完成に費やされた実際の工数を指定します。

3. 複数値選択ボックスで、以下に関して、製品に関連付ける値を選択します。
 - ペルソナ
 - フィーチャー
 - 競合製品
 - 地域のマーケット セグメント
 - 業種のマーケット セグメント
 - 顧客
4. 以下に関する詳細な製品情報に記入して、自由形式のテキスト セクションを完了します。
 - 長所
 - 短所
 - 案件
 - 脅威
 - 解決済みの問題各テキストボックスに 32,000 文字まで入力できます。
5. [保存]をクリックします。

製品の詳細の表示

[製品の詳細]ページには、表示可能な製品に関する情報が含まれています。ページを表示するには、[製品]リスト ページ上で製品の[アクション]列の[表示]をクリックします。

ユーザが製品の所有者である場合、[製品の詳細]ページ上で[編集]をクリックして、製品に変更を加えることができます。

[製品の詳細]ページの[表示]モードで、以下を実行できます。

- 製品の所有者の変更
- リリースまたは要件の作成
- スクラム チームの作成

リリースについて

Product Vision には、以下のリリース タイプがあります。

- 製品リリース

このリリースタイプは、製品の更新または変更を示し、そのため、単一の製品と関連付ける必要があります。Agile Vision も使用している場合は、作成したリリースが Agile Vision にも表示されます。

- マスタリリース

このリリースタイプは、複数の製品とそのリリースに関連付けることができます。製品リリースをマスタリリースに割り当てると、リリース内のすべてのユーザストーリーと要件が自動的にマスタリリースに割り当てられます。

すべてのユーザストーリーおよび要件をマスタリリースに割り当てたくない場合、製品がマスタリリースに関連付けられていれば、個別のユーザストーリーまたは要件に関連付けることができます。

注: マスタリリースの詳細(マスタリリースの作成方法を含む)については、「管理ガイド」を参照してください。

製品リリースの作成

リリースの作成後、リリースの詳細を編集して、リリースのすべての面に関する完全情報を追加します。

リリースの作成方法

1. [Product Vision]メニューに移動し、[計画の詳細]メニューから[リリース]をクリックします。

[リリース]リスト ページが表示されます。

2. [新規リリース]をクリックします。
3. 以下のフィールドに入力します。

リリース名

リリースの名前を指定します。

製品

リリースが関連付けられる製品を指定します。

説明

作成または編集されている項目の説明を提供します。

開始日

リリース工数が始まる日付を指定します。

リリース日

リリース工数が完了する日付を指定します。

アクティブ

Product Vision でリリースがアクティブであり、作業可能かつ追跡可能であることを指定します。

デフォルト: オン

ターゲットコスト

リリースの合計計画コストが定義されます。この値は Product Vision 内で入力して編集できる高レベルの見積もりです。CA Clarity PPM と Product Vision が統合されている場合、計画コストの情報は CA Clarity PPM から取得され、Product Vision 内で読み取り専用になります。このフィールドは、直接 Product Vision を使用して元の概算値を入力し、追跡するための手段です。

ターゲット工数

リリースの合計計画工数を時間単位で定義します。この値は Product Vision 内で入力して編集できる高レベルの見積もりです。CA Clarity PPM と Product Vision が統合されている場合、計画工数の情報は CA Clarity PPM から取得され、Product Vision 内で読み取り専用になります。このフィールドは、直接 Product Vision を使用して元の概算値を入力し、追跡するための手段です。

4. 以下アクションのいずれかを完了します。
 - [保存]をクリックしてリリースを保存し、リリースの詳細を編集します。
 - [保存して新規作成]をクリックしてリリースを保存し、別のリリースを作成します。

製品リリースの詳細の編集

製品のリリースの詳細を編集できます。

リリースの詳細の編集方法

1. [リリース]リスト ページを開き、編集するリリースの[アクション]列で[編集]をクリックします。
2. 必要に応じて、リリースの[編集]ページで、以下のフィールドを完了または編集します。

リリース名

リリースの名前を指定します。

開始日

リリース工数が始まる日付を指定します。

アクティブ

Product Vision でリリースがアクティブであり、作業可能かつ追跡可能であることを指定します。

デフォルト: オン

製品

リリースが関連付けられる製品を指定します。

リリース日

リリース工数が完了する日付を指定します。

マスターリリース

このリリースに関連付けるマスターリリースを指定します。

説明

作成または編集されている項目の説明を提供します。

ターゲット コスト

リリースの合計計画コストが定義されます。この値は Product Vision 内で入力して編集できる高レベルの見積もりです。CA Clarity PPM と Product Vision が統合されている場合、計画コストの情報は CA Clarity PPM から取得され、Product Vision 内で読み取り専用になります。このフィールドは、直接 Product Vision を使用して元の概算値を入力し、追跡するための手段です。

ターゲット工数

リリースの合計計画工数を時間単位で定義します。この値は Product Vision 内で入力して編集できる高レベルの見積もりです。CA Clarity PPM と Product Vision が統合されている場合、計画工数の情報は CA Clarity PPM から取得され、Product Vision 内で読み取り専用になります。このフィールドは、直接 Product Vision を使用して元の概算値を入力し、追跡するための手段です。

計画コスト

リリースの計画コストを表示します。この情報は、リリースに関連付けられた要件の計画コスト データからロールアップされます。この情報は読み取り専用です。

計画工数

リリースの計画工数を労働時間単位で指定します。この情報は、リリースに関連付けられた要件の計画工数データからロールアップされます。この情報は読み取り専用です。

実際コスト

リリースの実際コストを表示します。この情報は、リリースに関連付けられた要件の実際コスト データからロールアップされます。この情報は読み取り専用です。

実工数

リリースに対して請求された実工数を労働時間単位で表示します。この情報は、リリースに関連付けられた要件の実工数データからロールアップされます。この情報は読み取り専用です。

残存コスト

残存する計画コストを表示します。この情報は読み取り専用です。

残存工数

リリースに残存する計画工数を表示します。この情報は読み取り専用です。

ターゲット コスト vs 計画コスト

ターゲット コストと計画コストの差を表示します。このフィールドを使用して、Product Vision に入力された元のターゲット見積もりの有効性を判定します。このフィールドは読み取り専用です。

ターゲット工数 vs 計画工数

ターゲット工数と計画工数の差を表示します。このフィールドは読み取り専用です。このフィールドを使用して、**Product Vision** に入力された元のターゲット見積りの有効性を判定します。このフィールドは読み取り専用です。

計画コスト vs 実際コスト

計画コストと実際コストの差を表示します。このフィールドは読み取り専用です。

計画工数 vs 実際工数

計画工数と実工数の差を表示します。このフィールドは読み取り専用です。

3. [保存]をクリックします。

第 6 章: 要件

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[要件について \(P. 47\)](#)

[要件の作成 \(P. 47\)](#)

[要件の詳細の編集 \(P. 49\)](#)

[要件の詳細の表示 \(P. 52\)](#)

[要件リストの表示および管理 \(P. 52\)](#)

[チャートとレポートを使用した要件の追跡 \(P. 54\)](#)

要件について

Product Vision では、以下の方法のいずれかを使用して要件を入力できます。

- [計画の詳細]メニュー上の[要件]リンクをクリックし、[新規要件]をクリックします。
- 製品、ソース、リリース、またはフィーチャーを[表示]モードで開き、[要件]セクションで[新規要件]をクリックします。

作成する要件は、[要件]リスト ページにリスト表示されます。要件をフィルタし並べ替えて、目的の情報のみをリスト表示することができます。

特定の製品の要件を参照するには、リスト ページの [アクション]列で[表示]をクリックして、製品の詳細ページを開きます。製品に関連付けられたすべての要件が、詳細ページの[要件]セクションにリスト表示されます。また、要件を[表示]モードで開き、[要件]セクション内を参照して、リリースまたはフィーチャーの要件を表示することもできます。

要件の作成

要件の作成後、要件の詳細を編集して、要件のすべての局面に関する完全な情報を追加します。

要件の作成方法

1. [Product Vision]メニューに移動し、[計画の詳細]メニューから[要件]をクリックします。
[要件]リスト ページが表示されます。
2. [新規]をクリックします。

- 以下のフィールドに入力します。

タイトル

要件の名前を指定します。

説明

作成または編集されている項目の説明を提供します。

カテゴリ

ユーザの会社で定義されている要件の分類方法を指定します。ドロップダウンリストからオプションを1つ選択します。

複雑度

要件の完了に関して、予測される困難の度合いを指定します。

値: 高、中、低

計画コスト

要件の見積費用を指定します。

都道府県

このフィールドはユーザの会社によって定義されます。通常、このフィールドは要件の別々のワークフロー ステージにラベルを付けるために使用されます。

優先度

要件が他の要件よりも優先されることを指定します。

値: 非常に高い、高、中、低、非常に低い、非優先

製品

要件が適用される製品(複数可)を指定します。要件に関連付ける複数の製品を選択できます。

- [保存して終了]をクリックします。
- 要件の詳細を編集して、要件の完全情報を完了します。

要件の詳細の編集

要件の詳細の編集方法

1. [要件]リスト ページを開き、編集する要件の[アクション]列で[編集]をクリックします。
2. [要件の編集]ページで、必要に応じて、以下のフィールドを完了または編集します。

タイトル

要件の名前を指定します。

親要件

現在の要件の親である要件を指定します。このフィールドは子要件にのみ適用されます。

財務的メリット

要件によって提供される可能性のある潜在的利益の規模を指定します。

計画コスト

要件の計画コストを指定します。Product Vision が CA Clarity PPM と統合されている場合、このデータは CA Clarity PPM から取得され、読み取り専用になります。CA Clarity PPM と統合されている場合、手動の編集結果は上書きされます。

計画工数

要件の計画工数を労働時間単位で指定します。Product Vision が CA Clarity PPM と統合されている場合、このデータは CA Clarity PPM から取得され、読み取り専用になります。CA Clarity PPM と統合されている場合、手動の編集結果は上書きされます。

実際コスト

要件の実際コストを表示します。Product Vision が CA Clarity PPM と統合されている場合、このデータは CA Clarity PPM から取得され、読み取り専用になります。CA Clarity PPM と統合されている場合、手動の編集結果は上書きされます。

実工数

要件に対して請求された実工数を労働時間単位で表示します。
Product Vision が CA Clarity PPM と統合されている場合、このデータは CA Clarity PPM から取得され、読み取り専用になります。CA Clarity PPM と統合されている場合、手動の編集結果は上書きされます。

残存コスト

残存する計画コストを表示します。Product Vision が CA Clarity PPM と統合されている場合、このデータは CA Clarity PPM から取得され、読み取り専用になります。

残存工数

残存する計画工数を表示します。Product Vision が CA Clarity PPM と統合されている場合、このデータは CA Clarity PPM から取得され、読み取り専用になります。

計画コスト vs 実際コスト

計画コストと実際コストの差を表示します。このフィールドは読み取り専用です。

計画工数 vs 実際工数

計画工数と実工数の差を表示します。このフィールドは読み取り専用です。

複雑度

要件の完了に関して、予測される困難の度合いを指定します。

値: 高、中、低

信頼度レベル

組織の要件の理解および組織の要件提供能力に対してオーナーが持っている信頼度のレベルを指定します。

値: 高、中、低

優先度

要件が他の要件よりも優先されることを指定します。

値: 非常に高い、高、中、低、非常に低い、非優先

都道府県

このフィールドはユーザの会社によって定義されます。通常、このフィールドは要件の別々のワークフロー ステージにラベルを付けるために使用されます。

アクティブ

要件がアクティブで、リリースとフィーチャーに割り当てることができることを指定します。非アクティブ要件は、リストビューまたは階層ビューには表示されません。

デフォルト: オン

カテゴリ

ユーザの会社で定義されている要件の分類方法を指定します。ドロップダウンリストからオプションを 1 つ選択します。

製品

要件が適用される製品 (複数可) を指定します。要件に関連付ける複数の製品を選択できます。

フィーチャー

要件が割り当てられるフィーチャーを指定します。

リリース

要件が割り当てられるリリースを指定します。要件を複数のリリースに割り当てることができます。

要件オーナー :

要件の所有者 (複数可) の名前を指定します。

ソース

要件に関連付けられるソースを指定します。要件を複数のソースに割り当てることができます。

ペルソナ

要件に関連付けられるペルソナを指定します。要件に複数のペルソナを関連付けることができます。

説明

作成または編集されている項目の説明を提供します。

問題

要件が対処または解決する問題を指定します。

3. [保存]をクリックします。
4. [リストに戻る]をクリックします。

要件の詳細の表示

[要件の詳細]ページには、表示可能な要件に関する情報が含まれています。ページを表示するには、[要件]リスト ページ上で要件の[アクション]列の[表示]をクリックします。

ユーザが要件または関連する製品またはフィーチャーのオーナーである場合、ページ上で[編集]をクリックできます。要件を変更することもできます。

[要件の詳細]ページの[表示]モードで、以下を実行できます。

- 子要件の追加
 - ユーザ ストーリーの作成 (Agile Vision と併用する場合)
 - 既存のユーザ ストーリーの追加
 - 既存のエピックの作成または追加
- CA Agile Vision オンライン ヘルプを参照してください。
- メモの追加
 - 添付ファイルの追加

要件リストの表示および管理

[要件]リスト ページでは、3 つのリスト表示オプションを使用できます。

- すべてのレコード。このビューから、新しい要件またはビューを作成し、個別の要件を編集できます。
- 要件の階層。これがデフォルトのビューです。このビューを使用して、要件間の親子関係を参照および管理し、新規要件を作成します。
- トレーサビリティマトリクス。このビューを使用して、要件に関連付けられたユーザのケースを参照します。また、リンクをクリックして、関連するソースおよびペルソナ情報など要件に関する詳細情報を表示できます。

トレーサビリティマトリクスの表示

トレーサビリティマトリクスによって、要件の起源、および Agile Vision を通じて要件に関連付けられたユーザストーリーを参照できます。

次の手順に従ってください：

1. [要件]リスト ページが表示されます。
2. [表示]フィールドで、[トレーサビリティマトリクス]を選択します。
3. 以下のいずれかのリンクをクリックして、情報を取得します。
 - 要件名をクリックして、要件の詳細情報を参照します。要件には、要件を開始したソースまたはペルソナ、および、製品とリリースの情報が含まれます。
 - ユーザストーリー名をクリックして、Agile Vision でどのように要件が満たされるかに関する詳細情報を表示します。

フィルタ オプションを使用して、トレーサビリティマトリクス要件をフィルタできます。[フィルタの追加/編集]をクリックしてフィルタを作成し、条件を指定し、[フィルタ]をクリックして表示をフィルタします。

要件階層の表示

要件階層によって、どの要件が親と子として関連付けられているか素早く識別できます。リストに要件が、親別に順番に表示されます。子は親の下に表示されます。

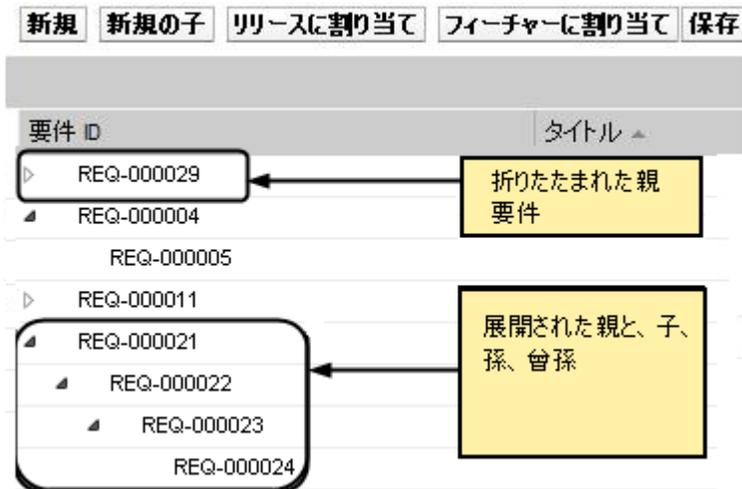
要件階層の表示方法

1. [要件]リスト ページが表示されます。
2. [表示]フィールドで、[要件履歴]を選択します。

[要件階層]リスト ページ上で、一部のフィールドを編集できます。編集するために、フィールド内でクリックします。フィールドが編集可能な場合、そのフィールドはアクティブ化され、編集することができます。

要件を右クリックすると表示されるメニューで、要件を表示、編集、削除、展開または折りたたむことができます。

灰色の矢印は、子が非表示になっている、折り畳まれた階層を示します。黒い矢印は、子がリスト表示された、展開された親を示します。以下の図では、展開された階層に4つのレベルがあります。階層内で作成できるレベルの数に制限はありません。



チャートとレポートを使用した要件の追跡

事前定義済みのチャートおよびレポートを使用して、要件を追跡できます。これらのチャートは [Salesforce.com Vision Public Dashboard](#) で入手可能です。

次の手順に従ってください：

1. **Product Vision** にログインし、ナビゲーション ツールバー内の [セットアップ] をクリックします。
2. [ダッシュボード] タブをクリックします。
ダッシュボードが表示されます。**Product Vision** ダッシュボードが表示されない場合は、ダッシュボード タイトルの下の [ダッシュボードリストに移動] をクリックします。[ビジョンパブリック ダッシュボード] が表示されます。
3. [Product Vision ダッシュボード] 選択します。
ダッシュボードが以下のグラフと共に表示されます。
 - 要件 - 状態棒グラフ
 - 要件 - 製品円グラフ
 - 要件 - 平均年齢折れ線グラフ
 - 要件 - リリース円グラフ

- 要件 - トレンド折れ線グラフ
- 要件 - ソース円グラフ

4. グラフの上でクリックして、レポート生成のオプションを表示します。

[次で情報を要約]- [リストの表示]から選択して、レポートの条件を変更することができます。また、時間範囲も指定できます。ダッシュボードの詳細については、ページヘルプを参照してください。

ベストプラクティス: レポートまたはチャートのカスタマイズを予定している場合は、他のユーザへの影響を避けるためにカスタムダッシュボードおよびレポートを作成します。詳細については、Salesforce.com ページヘルプを参照してください。

製品リリースの詳細の表示

[リリースの詳細]ページには、表示可能なリリースに関する情報が含まれています。ページを表示するには、[リリース]リスト ページ上でリリースの[アクション]列の[表示]をクリックします。

ユーザがリリースの所有者または関連する製品の所有者である場合、ページ上で[編集]をクリックし、リリースに変更を加えることができます。

[リリースの詳細]ページの[表示]モードで、以下を実行できます。

- 要件の作成
- スプリントの作成
- ベースラインの作成

フィーチャーについて

フィーチャーを作成するときは、フィーチャーを単一の製品に関連付ける必要があります。1つのフィーチャーを複数の要件にリンクすることもできます。また、フィーチャーレベルにロールアップされたフィーチャーの要件に関する計画情報と実績情報を表示できます。

フィーチャーの作成

フィーチャーの作成後、フィーチャーの詳細を編集して、フィーチャーのすべての面に関する完全情報を追加します。

フィーチャーの作成方法

1. [Product Vision]メニューに移動し、[計画の詳細]メニューから[フィーチャー]をクリックします。

[フィーチャー]リスト ページが表示されます。

2. [新規フィーチャー]をクリックします。

3. 以下のフィールドに入力します。

フィーチャー名

フィーチャーの名前を指定します。

製品

フィーチャーが関連付けられる製品を指定します。

ターゲットコスト

フィーチャーの合計計画コストを定義します。これは Product Vision 内で入力して編集できる高レベルの見積もりです。CA Clarity PPM と Product Vision が統合されている場合、計画コストの情報は CA Clarity PPM から取得され、Product Vision 内で読み取り専用になります。このフィールドは、直接 Product Vision を使用して元の概算値を入力し、追跡するための手段です。

ターゲット工数

フィーチャーの合計計画工数を時間単位で定義します。これは Product Vision 内で入力して編集できる高レベルの見積もりです。CA Clarity PPM と Product Vision が統合されている場合、計画工数の情報は CA Clarity PPM から取得され、Product Vision 内で読み取り専用になります。このフィールドは、直接 Product Vision を使用して元の概算値を入力し、追跡するための手段です。

説明

作成または編集されている項目の説明を提供します。

4. [保存して終了]をクリックします。
5. フィーチャーの詳細を編集して、フィーチャーのすべての情報を完了します。

フィーチャーの詳細の編集

名前、コスト、工数など、特定のフィーチャーの詳細を編集できます。

フィーチャーの詳細の編集方法

1. [フィーチャー]リスト ページを開き、編集するフィーチャーの[アクション]列で[編集]をクリックします。
2. 以下のフィールドに入力します。

フィーチャー名

フィーチャーの名前を指定します。

製品

フィーチャーが関連付けられる製品を指定します。

ターゲット コスト

フィーチャーの合計計画コストを定義します。これは Product Vision 内で入力して編集できる高レベルの見積もりです。CA Clarity PPM と Product Vision が統合されている場合、計画コストの情報は CA Clarity PPM から取得され、Product Vision 内で読み取り専用になります。このフィールドは、直接 Product Vision を使用して元の概算値を入力し、追跡するための手段です。

ターゲット工数

フィーチャーの合計計画工数を時間単位で定義します。これは Product Vision 内で入力して編集できる高レベルの見積もりです。CA Clarity PPM と Product Vision が統合されている場合、計画工数の情報は CA Clarity PPM から取得され、Product Vision 内で読み取り専用になります。このフィールドは、直接 Product Vision を使用して元の概算値を入力し、追跡するための手段です。

計画コスト

フィーチャーの計画コストを表示します。この情報は、フィーチャーに関連付けられた要件の計画コスト データからロールアップされます。この情報は読み取り専用です。

計画工数

フィーチャーの計画工数を労働時間単位で指定します。この情報は、フィーチャーに関連付けられた要件の計画工数データからロールアップされます。この情報は読み取り専用です。

実際コスト

フィーチャーの実際コストを表示します。この情報は、フィーチャーに関連付けられた要件の実際コスト データからロールアップされます。この情報は読み取り専用です。

実工数

フィーチャーに対して請求された実工数を労働時間単位で表示します。この情報は、フィーチャーに関連付けられた要件の実工数データからロールアップされます。この情報は読み取り専用です。

残存コスト

残存する計画コストを表示します。この情報は読み取り専用です。

残存工数

フィーチャーに残存する計画工数を表示します。この情報は読み取り専用です。

ターゲット コスト vs 計画コスト

ターゲット コストと計画コストの差を表示します。このフィールドを使用して、**Product Vision** に入力された元のターゲット見積もりの有効性を判定します。このフィールドは読み取り専用です。

ターゲット工数 vs 計画工数

ターゲット工数と計画工数の差を表示します。このフィールドは読み取り専用です。このフィールドを使用して、**Product Vision** に入力された元のターゲット見積もりの有効性を判定します。このフィールドは読み取り専用です。

計画コスト vs 実際コスト

計画コストと実際コストの差を表示します。このフィールドは読み取り専用です。

計画工数 vs 実際工数

計画工数と実工数の差を表示します。このフィールドは読み取り専用です。

フィーチャー オーナー

フィーチャーの所有者の名前を指定します。複数の所有者を選択できます。

説明

作成または編集されている項目の説明を提供します。

3. [保存して終了]をクリックします。

機能の詳細の表示

[フィーチャーの詳細]ページには、表示可能な個別のフィーチャーに関する情報が含まれています。ページを表示するには、[フィーチャー]リスト ページ上でフィーチャーの[アクション]列の[表示]をクリックします。

ユーザがフィーチャーまたは関連する製品のオーナーである場合、ページ上で[編集]をクリックして、フィーチャーの値を変更することができます。

[フィーチャーの詳細]ページの[表示]モードで、以下を実行できます。

- 要件の作成
- メモのフィーチャーへの追加
- 添付ファイルのフィーチャーへの追加

製品ロードマップについて

製品ロードマップは、製品のリリース タイムラインを表示します。ロードマップは、高レベルビューと、リリースおよび要件へのドリルダウンを持つ、マスターリリースのビューを提供します。月次、四半期ごと、および年次のビューでは、要件とフィーチャーを提供するための短期的、長期的な実装計画を表示します。

ロードマップからは容易に製品、リリース、および要件詳細ページにリンクでき、そこからオブジェクトの表示、作成、編集、クローン、および削除が可能です。

はじめて製品ロードマップを開いた時は、最初の製品がアルファベット順に表示されます。ドロップダウンリストから製品を選択すると、次にロードマップを開いたときに、前回表示した製品が表示されます。

ロードマップ ナビゲーション

ロードマップでは、リリースの計画に役立つ複数のナビゲーションが選択できます。既定のビューでは、製品およびマスタリリースが折りたたまれた状態で表示され、現在の日付から開始します。現在の日付より前の日付にナビゲートすることができます。

ロードマップから、以下を行うことができます。

- ロードマップ用に製品名を指定

[製品] リストから名前を選択します。製品は、アルファベット順に一覧表示されます。

- 日付範囲によるズームインまたはズームアウト

[タイム フレーム] オプションから日付範囲を選択します。ズーム オプションのタイム フレームは、月次、四半期ごと、または年次です。

- [ナビゲーション] 矢印をクリックして水平にスクロールします。

二重矢印を使用すると、前後のページに移動できます。単一の矢印を使用すると、現在選択されているタイム フレームに基づいて、時間単位ごとにスクロールされます。異なるタイム フレームを変更すると、時間単位も変更されます。リリースまたは要件と関連付けられたフィーチャーを表示または非表示にします。

[フィーチャーの表示] または [フィーチャーを非表示] オプションをクリックします。

- マスタリリース、リリース、およびフィーチャー用のオブジェクトを展開するか折りたたみます。
- オブジェクトの横の下向きまたは上向きの矢印をクリックして、子オブジェクト（子リリースまたは要件）のビューを展開または折りたたみます。
- オブジェクトをクリックして、詳細ページを表示します。

ロードマップからのオブジェクト詳細ビュー

リリースなど、ロードマップ上のオブジェクトの高レベルの情報を表示したり、オブジェクト詳細ページを開くことができます。

高レベルの情報を表示するには、マウス ポインタをオブジェクト上に移動します。オブジェクトのツールヒントが表示され、オブジェクトタイプに応じて、開始日と終了日、関連付けられたマスタリリース、または製品が表示されます。オブジェクトの詳細ページを開くには、[その他] をクリックします。

ロードマップ エリアのリリースまたは要件オブジェクトをクリックして、詳細ページを表示します。オブジェクトの詳細ページが[表示]モードで表示されます。

たとえば、ロードマップ内に「リリース 1」というリリースを持つ場合、緑のバー「リリース 1」の上にマウスを移動させると、リリース情報が表示されます。リリースをクリックして、詳細ページまでドリルダウンします。

マスターリリース、リリース、およびフィーチャーの詳細を参照するには、表示されたネストオブジェクトの下向き矢印をクリックします。オブジェクトをより高レベルのオブジェクトに関連付けている場合、たとえば、リリースをマスターリリースに関連付けている場合などは、より高レベルのオブジェクトを展開して、関連付けられたツールヒントと詳細ページへのリンクを使用してネストされたオブジェクトを参照します。

第 7 章: Chatter の使用

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[Chatter について](#) (P. 63)

[フォローのオン/オフ切り替え](#) (P. 63)

[Chatter 情報の表示](#) (P. 64)

Chatter について

Chatter を使用して、組織内の他のユーザとリアルタイムで通信し、情報を交換できます。Chatter では、以下の操作を実行できます。

- 自分の情報、フォローしているユーザのステータス更新、フォローしているレコードの更新、および自分がメンバになっているグループの更新の表示。
- メンバが更新をポストしたり、メンバ同士が非公開で通信したりできる Chatter グループの作成。
- ポストへの添付ファイルまたはリンクの追加。
- Chatter が有効になっているユーザまたはレコードをフォローするかどうかの決定。

Chatter の設定は変更できます。Chatter の使用方法の詳細については、[Salesforce.com](#) の「ヘルプ & トレーニング」を参照してください。このマニュアルは、[セットアップ]リンクをクリックして[個人設定]を表示して利用できます。次に、[ヘルプ]リンクをクリックします。

フォローのオン/オフ切り替え

Chatter を使用して、以下の Agile Vision または Product Vision 項目に関する情報をフォローできます。

- 製品
- リリース
- 要件
- フィーチャー

- ソース
- ユーザストーリー
- タスク
- 問題

自分が作成した Agile Vision または Product Vision 項目のフォローは、既定でオンになっています。

自分が項目の作成者でない場合、フォローはアクティブ化されませんが、手動でフォローをアクティブ化できます。

項目がフォローされているかどうかは、リスト ページの [フォロー] 列で確認できます。

Chatter フォローのオン/オフを切り替える方法

1. 適切なリスト ページを開き、リスト内の特定の項目を見つけます。
2. リスト項目の [フォロー] 列で、以下のいずれかを実行します。
 - リスト項目をフォローするには、[フォロー] という文字の左側にある緑のアイコンをクリックします。
 - リスト項目のフォローをオフにするには、[フォロー] という文字の右側にあるアイコンをクリックします。

Chatter 情報の表示

Chatter は Agile Vision と Product Vision のどちらでも利用可能です。これらの製品のどちらかに表示される Chatter 情報は、その製品にのみ関連します。

Chatter 情報は、Chatter リスト ページまたは詳細ページから表示できます。

Chatter リスト ページ

この Chatter ページには、Agile Vision または Product Vision でフォローしているすべての項目に対する統合されたアクティビティが一覧表示されます。

Chatter リスト ページの表示方法

1. 表示する Chatter 情報に応じて、[Product Vision] または [Agile Vision] メニューに移動します。

2. メニューが表示されたら、[概要]メニューから[Chatter]を選択します。
フォローしている項目の Chatter アクティビティの完全なリストが表示されます。

詳細ページの Chatter フィード

リスト項目の詳細ページでは、Chatter フィードを使用できます。この Chatter リストは、選択したリスト項目にのみ関連します。

詳細ページの Chatter フィードを表示する方法

1. 項目 (Product Vision の特定の要件や Agile Vision の特定のスプリントなど) の詳細ページを開きます。
2. [表示]フィールドで、[Chatter フィード]を選択します。
項目の Chatter アクティビティが表示されます。